

令和3(2021)年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
21001	プロジェクト型	新規	補体関連因子が孤発性神経変性疾患の病態に及ぼす影響に関して	名古屋市立大学	教授	赤津 裕康	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
21002	プロジェクト型	新規	BRAF V600E変異腫瘍に対する分子標的治療後獲得耐性の克服に向けたトランスレーショナル研究	横浜市立大学大学院医学研究科	助教	立石 健祐	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
21003	プロジェクト型	新規	ATN分類における γ -secretase活性変化の解析	同志社大学	助教	角田 伸人	遺伝子機能解析学分野	春日 健作
21004	プロジェクト型	新規	中枢神経系原発悪性リンパ腫におけるcaveolin-1発現とその臨床病理学的意義	久留米大学	教授	杉田 保雄	病理学分野	柿田 明美
21005	プロジェクト型	新規	体内時計を制御するオーファン受容体のリン酸化変動を介した睡眠制御機構の解明	京都大学大学院	教授	土居 雅夫	モデル動物開発分野	阿部 学
21006	プロジェクト型	新規	日本人由来ヒトアルツハイマーアミロイドのNMR研究	東京工業大学	教授	石井 佳善	病理学分野	柿田 明美
21007	プロジェクト型	新規	CESTによる脳機能評価系の確立を目指した基礎検討	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	グループリーダー	青木 伊知男	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
21008	プロジェクト型	新規	マルチスケールイメージングによる大脳基底核の機能解明	大阪大学	教授	小山内 実	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
21011	プロジェクト型	新規	アルツハイマー病感受性遺伝子バリエーションが中枢神経病理に及ぼす影響の検討	医療法人さわらび会 福祉村病院	副所長	金田 大太	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
21012	プロジェクト型	新規	CRF受容体1および2遺伝子改変マウスによるCRFニューロン回路の同定と機能解析	東北大学	客員研究員	井樋 慶一	モデル動物開発分野	阿部 学
21013	プロジェクト型	新規	高いアミロイド β 凝集阻害能をもつ分子のクルクミン誘導体の開発	東京工業大学	教授	中村 浩之	脳病態解析分野	杉江 淳
21014	プロジェクト型	新規	筋強直性ジストロフィーにおけるタウ病理：タウPETを用いた検討	量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所	技術員	五 健二	病理学分野	清水 宏
201901	プロジェクト型	継続	マルチモーダルな脳画像と脳機能データを用いたマルチモーダル機械学習	東京医科歯科大学	講師	服部 高明	脳機能解析学分野	松澤 等
201902	プロジェクト型	継続	認知症の解明と精密医療実現を目的としたゲノム-オミクス解析	国立長寿医療研究センター	部長	尾崎 浩一	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
201903	プロジェクト型	継続	Experimental autoimmune encephalomyelitisマウスの作成およびそれを用いた治療法開発	藤田医科大学	教授	鈴木 元	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201904	プロジェクト型	継続	遺伝性脳小血管病モデル動物を用いた脳卒中・認知症の新規治療法の開発	国立循環器病研究センター	部長	猪原 匡史	脳神経内科学分野	小野寺 理
201906	プロジェクト型	継続	高磁場MRIを用いた発達障害に伴う統合的脳機能に関する研究	国立成育医療研究センター	副院長・統括部長	小枝 達也	統合脳機能研究センター	鈴木 雄治
201907	プロジェクト型	継続	タウオバチー病理組織標本を用いたタウPET画像病理相関解析	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	部長	樋口 真人	脳疾患標本資源解析学分野	柿田 明美
201908	プロジェクト型	継続	ストレス応答におけるドーパミン受容体の役割の解明	北里大学	准教授	板倉 誠	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201909	プロジェクト型	継続	シヌクレイン/バチーにおける異常蓄積タンパク質の排出亢進と治療法の開発	弘前大学	助教	丹治 邦和	病理学分野	柿田 明美
201910	プロジェクト型	継続	血漿中ILE1定量による高齢者認知機能障害の初期サロゲイトマーカーとしての検証	滋賀医科大学	教授	西村 正樹	遺伝子機能解析学分野	池内 健
201911	プロジェクト型	継続	アルツハイマー病に関連するゲノム情報を駆使した多遺伝子解析	大阪大学	特任講師(常勤)	菊地 正隆	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
201912	プロジェクト型	継続	臨床応用に資する[11C]TGN-020の迅速かつ高収量な製造合成法の開発	福島県立医科大学	教授	久保 均	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
201913	プロジェクト型	継続	神経変性疾患特異蛋白と神経細胞脱落：ヒト基底核における定量的検討	信州大学	特任教授	小柳 清光	病理学分野	柿田 明美
201914	プロジェクト型	継続	脳由来の血中糖タンパク質の網羅的な同定方法の確立	関西医科大学	准教授	赤間 智也	モデル動物開発分野	阿部 学
201916	プロジェクト型	継続	睡眠覚醒と記憶制御に関わる視床下部神経の動作原理解明	名古屋大学	教授	山中 章弘	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201917	プロジェクト型	継続	精神疾患死後脳の分子プロファイル解析	東北大学災害科学国際研究所	准教授	國井 泰人	病理学分野	柿田 明美
201918	プロジェクト型	継続	遺伝子改変マウスを用いた大脳基底核疾患の病態生理の解析	自然科学研究機構 生理学研究所	助教	知見 聡美	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201919	プロジェクト型	継続	歯状回顆粒細胞の興奮性に対するdiacylglycerol lipase alphaの役割の解明	東京大学	講師	菅谷 佑樹	モデル動物開発分野	阿部 学
201920	プロジェクト型	継続	タウ凝集体の伝播におけるミクログリアの役割	鹿児島大学大学院医学総合研究科	助教	松本 信英	病理学分野	柿田 明美
201921	プロジェクト型	継続	遺伝子改変技術による生体リズム中枢の分子機構の解析	京都大学	研究員	岡村 均	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201922	プロジェクト型	継続	腸内細菌叢および腸管上皮細胞からのDAMPs制御による脳虚血病巣進展への影響	日本医科大学大学院	准教授	西山 康裕	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
201923	プロジェクト型	継続	孤発性ALS患者で見出された新規microRNAの機能解析	岐阜薬科大学	教授	保住 功	病理学分野	柿田 明美
20001	プロジェクト型	継続	タウオバチーにおける海馬由来コリン作動性神経刺激ペプチド関連因子の動態	名古屋市立大学	教授	松川 則之	遺伝子機能解析学分野	池内 健
20004	プロジェクト型	継続	筋萎縮性側索硬化症(ALS)細胞質TDP-43凝集体形成を抑制する分子の同定と機能解析	杏林大学	教授	渡部 和彦	病理学分野	柿田 明美
20005	プロジェクト型	継続	手術安全と教育を目的とした深層学習による顕微鏡手術映像解析研究	北海道大学病院	助教	杉山 拓	脳機能解析学分野	松澤 等
20006	プロジェクト型	継続	内因的行動の神経基盤の解明	中京大学	任期制講師	酒多 穂波	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
20007	プロジェクト型	継続	新しいフェロトーン阻害システムによる神経細胞保護の検討	群馬大学	教授	鳥居 征司	脳神経内科学分野	金澤 雅人

令和3(2021)年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規 継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
20008	プロジェクト型	継続	慢性疼痛関連分子を標的とした脳および脊髄での機能的解明	関西医科大学	准教授	片野 泰代	モデル動物開発分野	阿部 学
20009	プロジェクト型	継続	側頭葉てんかんにおけるてんかん焦点の可視化—multimodalityを用いた術前評価による外科手術の成績向上に向けて—	国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科	神経部長	福多 真史	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
20010	プロジェクト型	継続	微小管結合タンパク質を中心としたゲノム解析と機能解析	同志社大学生命医科学部	准教授	宮坂 知宏	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
20011	プロジェクト型	継続	神経回路精緻化メカニズムの遺伝学的解析	国立遺伝学研究所	教授	岩里 琢治	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20012	プロジェクト型	継続	アルツハイマー病タウ蓄積および変性に対するaquaporin-4機能促進薬TGN-073の効果の検証	東京大学	助教	山田 薫	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
20013	プロジェクト型	継続	SCA42モデルマウス解析を通じた脊髄小脳変性症治療法の開発	公立大学法人横浜市立大学	准教授	土井 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20014	プロジェクト型	継続	ミクログリア機能修飾によるタウ病態の変化の検討	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	主幹研究員	高堂 裕平	脳神経内科学分野	金澤 雅人
20016	プロジェクト型	継続	脳梁膨大後皮質におけるグルタミン酸受容体GluD2による入力選択的回路形成機構	北海道大学大学院医学研究院	教授	渡辺 雅彦	モデル動物開発分野	阿部 学

※所属および職名は申請時のものです。

令和3(2021)年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
21009	連携資源利用型	新規	疾患モデル動物の作製、保存、繁殖に有用なゲノム編集および生殖工学技術の開発	熊本大学	講師	竹尾 透	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
21501	連携資源利用型	新規	筋強直性ジストロフィーにおける多臓器障害の原因解明	大阪大学	特任准教授(常勤)	中森 雅之	病理学分野	清水 宏
21502	連携資源利用型	新規	アルツハイマー病における三叉神経中脳路核-青斑核周囲病変の解析	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科	教授	後藤 哲哉	病理学分野	柿田 明美
21503	連携資源利用型	新規	DNA障害型抗がん剤の感受性増強因子SLFN11の脳腫瘍における発現解析と臨床的有用性の検討	慶應義塾大学	特任准教授	村井 純子	脳神経外科学分野	藁田 学
21504	連携資源利用型	新規	運動ニューロン変性に関与する翻訳後修飾の同定	北里大学	教授	佐藤 俊哉	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
21505	連携資源利用型	新規	超短命アフリカメダカを用いた各種抗酸化食品成分のアンチエイジング効果の研究	筑波大学	講師	小林 麻己人	脳病態解析分野	松井 秀彰
21506	連携資源利用型	新規	遺伝性筋疾患におけるHECT型E3ユビキチンリガーゼの機能の解明	国立精神・神経医療研究センター	室長	今村 道博	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
21507	連携資源利用型	新規	ヒト特異的な脳細胞は果たしてあるのか?単一細胞比較トランスクリプトーム・エピゲノム解析	自然科学研究機構	特任准教授	郷 康広	病理学分野	柿田 明美
21508	連携資源利用型	新規	脳神経筋疾患モデルマウスにおける超過剰排卵誘起処理と反復採卵による系統保存システムの開発2	公益財団法人 実験動物中央研究所	センター長	高橋 利一	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201926	連携資源利用型	継続	発達期脳内微細構造の生体イメージングによる神経回路形成機序の解明	熊本大学	特任准教授	水野 秀信	細胞病態学分野	三國 貴康
201927	連携資源利用型	継続	TDP-43病変に結合する分子プローブの開発	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	研究員	小野 麻衣子	脳疾患標本資源解析学分野	柿田 明美
201928	連携資源利用型	継続	脳疾患ゲノム情報に基づく病態モデルマウスの開発に関する研究	理化学研究所	室長	吉木 淳	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201929	連携資源利用型	継続	歩行運動の大脳基底核ドーパミン制御機構の解明	立命館大学	教授	木津川 尚史	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201930	連携資源利用型	継続	モノアミン神経伝達物質合成関連遺伝子の組織特異的破壊による生理機能変化の解析	東京工業大学	教授	一瀬 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201931	連携資源利用型	継続	ミクログリア機能を反映するPETイメージングの開発	国立長寿医療研究センター	室長	木村 泰之	病理学分野	他田 真理
201932	連携資源利用型	継続	脳バンク検体を用いた加齢に伴う脳組織のクローン再構成及び脳腫瘍発生に関する研究	京都大学	特定講師	荒川 芳輝	病理学分野	柿田 明美
201933	連携資源利用型	継続	神経組織特異的Scrapperノックアウトマウスの作出と神経変性に関する解析	関西学院大学	教授	矢尾 育子	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20501	連携資源利用型	継続	脳研究に必須な遺伝子改変マウスの系統保存に重要な培養条件の検討	東京医科大学	教授	久慈 直昭	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20502	連携資源利用型	継続	神経変性疾患モデルマウスのヒト疾患との連関	昭和大学	准教授	大滝 博和	病理学分野	柿田 明美
20504	連携資源利用型	継続	脳腫瘍の原因遺伝子変異を特異的に抑制するsiRNA核酸医薬品開発	東京大学	准教授	程 久美子	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
20506	連携資源利用型	継続	筋萎縮性側索硬化症におけるイノシトール6リン酸キナーゼの役割	東海大学医学部	教授	永田 栄一郎	病理学分野	柿田 明美
20509	連携資源利用型	継続	神経幹細胞での遺伝子変異による腫瘍化メカニズムの解析	国立病院機構大阪医療センター	部長	金村 米博	脳神経外科学分野	藤井 幸彦

※所属および職名は申請時のものです。

令和3（2021）年度 新潟大学脳研究所 国際共同研究 採択者一覧

新規 継続	課題番号	研究課題名		研究代表者（申請者）			所内対応教員			
		英	和	国	所属機関・組織名	職名	氏名	分野名	氏名	
1	継続	G201903	Development, optimization and validation of human AQP-4 PET Radioligand	AQP-4 PET トレーサーの開発と最適化	米	Departments of Psychiatry and Radiology / Harvard Medical School (ハーバード大学)	Prof.	Marek Kubicki	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
2	継続	G202001	Hydrodynamic Pathology of the Brain	脳水動態病理学の創生	米	Neurology, Univ. of California Davis (カリフォルニア大学デービス校)	Prof.	Ingrid L Kwee	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
3	継続	G202004	The role of striatal direct and indirect pathways and dopamine D2 isoforms in the pathophysiology of psychosis	精神疾患の病態生理における線条体の直接路と間接路およびD2ドーパミン受容体分子種の役割解明の研究	米	Department of Pharmaceutical Sciences, Ben and Maytee Fisch College of Pharmacy, The University of Texas at Tyler (テキサス大学タイラー校)	Associate Prof.	Yanyan Wang	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
4	継続	G202007	Investigation of pathogenesis of Alzheimer's disease using mouse models	マウスモデルを用いたインフラマソームを介したアルツハイマー病の病態生理の解明	米	Dept. Neurobiology, Univ. of Massachusetts Medical School, Brudnick Neuropsychiatry Research Institute (マサチューセッツ州立メディカルスクール)	Assistant Prof.	Kensuke Futai 二井 健介	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
5	新規	G202101	Production of transgenic mouse lines for labeling retinal cell types and analyses of their roles in visual function	網膜細胞タイプ標識のための遺伝子改変マウス系統の作出と視覚機能解析	デンマーク	DANDRITE, Department of Biomedicine, Aarhus University (オーフス大学)	Associate Prof. / Group Leader	Keisuke Yonehara 米原 圭佑	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
6	新規	G202102	Characterization of novelty circuits responsible for memory boosts	日常の記憶の増強を担う新奇な体験情報を伝達する神経回路の同定	デンマーク	Department of Biomedicine, Aarhus University (オーフス大学)	Associate Prof.	Tomonori Takeuchi 竹内 倫徳	システム脳病態学分野	田井中 一貴